

# 三重縣公報

第五千三百三十八號

昭和二十年一月十一日

木曜日

## 告示

### ●三重縣告示第二十一號

商工組合法第三十九條ノ規定ニ依リ三重縣瓦工系統制組合統制規程設定ノ件昭和二十年一月八日認可セリ  
右統制規程ハ本廳竝ニ其ノ組合事務所(津市羽所町一、六六三番地)ニ於テ縦覧ニ供ス

昭和二十年一月十一日

三重縣知事 持永義夫

### ●三重縣告示第二十二號

公有水面埋立工事竣功期間伸長ノ件左ノ通昭和二十年一月七日許可セリ

昭和二十年一月十一日

三重縣知事 持永義夫

一、願人 志摩郡濱島町 濱島漁業會

一、埋立ノ場所及面積 志摩郡濱島町大字濱島地先海面一千二百八十七坪二合六勺  
一、埋立ノ目的 船曳揚場、宅地

一、工事竣功期間 元昭和十九年十二月二十日  
新昭和二十年三月二十日  
一、埋立免許ノ年月日 昭和十九年七月五日

一、願人 志摩郡濱島町 濱島漁業會  
一、埋立ノ場所及面積 志摩郡濱島町大字濱島地先海面一千五百二十坪四合五勺  
一、埋立ノ目的 宅地、船曳揚場、水路、道路  
一、工事竣功期間 元昭和十九年十二月末日  
新昭和二十年三月末日  
一、埋立免許ノ年月日 昭和十九年十一月四日

通 達 照 會

●地第三四號

昭和二十年一月十一日

内 政 部 長

廳中各課(所)長殿  
各地方事務所長殿  
各市町村長殿

地方事務所燒失ニ關スル件

兵庫縣武川地方事務所ハ客年十二月二十八日火災ニ罹リ全燒シタル旨其ノ筋ヨリ申越アリタルニ付同日以前當該地方事務所ニ對シ爲シタル照會等ニシテ應答未済ノ向ハ更ニ其ノ手續相成様致度右通知ス  
尙同地方事務所ノ假事務所ハ當分ノ間隣接ノ伊丹國民勤勞動員署ノ一部ヲ充當セルニ付申添フ

●地第三五號

昭和二十年一月十一日

内 政 部 長

各市町村長殿

役場燒失ニ付通知ノ件

奈良縣高市郡高取町役場ハ客年十二月二十三日火災ニ

罹リ書類燒失シタル旨其ノ筋ヨリ申越アリタルニ付同日以前當該役場ニ對シ爲シタル照會等ニシテ應答未済ノ向ハ再度照會セラレ度右通知ス

●教第五二一八號

昭和二十年一月十一日

内 政 部 長

縣立醫學專門學校校長殿  
高田專門學校校長殿  
公私立各中等學校校長殿  
公私立各青年學校校長殿

在郷軍人學校分會結成ニ關スル件

標記ノ件ニ關シテハ左記御含ミノ上之ガ設置ニ關シ協力方其ノ筋ヨリ通牒アリタルニ付御配意相成度  
追テ本件ハ文部省及陸海軍省ト打合濟ニ付御承知アリタシ

記

一、大學、高等專門學校、教員養成諸學校及之ニ準ズル學校ハ原則トシテ學校分會ヲ設置スルコト  
二、中等學校及青年學校ハ原則トシテ之ヲ設置セザルコト但シ中等學校ニ在リテハ防衛上ノ要請ヲ考慮シ之ヲ設置スルコトヲ得ルコト

三、學校分會ハ特ニ聯合支部ニ屬セシムル豫定ナルコト  
四、學校分會ノ組織ハ成ルベク學校ノ組織ニ一致セシムルコト

五、學校分會ノ名稱ハ學校名ヲ冠スルモノトスルコト

六、學校長ハ當分ノ間名譽顧問トスルコト

七、分會長ハ教職員中適當ナル者ヲ以テ之ニ充ツルコト

八、教職員ニ付テハ分會ノ中ニ特別ノ班ヲ設クルト共ニ適當ナル者ヲシテ學徒班ノ指導者タラシムルコト

九、軍事教官ハ分會ノ幹部ニ委嘱スルコト

十、滿十七歲以下ノ者ニシテ志願スル者ハ分會員タラシムルコトヲ得ルコト

十一、學徒ニシテ學校分會加入者ハ地域分會ニ加入ヲ要セザルコト

十二、中等學校及青年學校ノ生徒ニシテ地域分會ニ加入スルモノアルトキハ學校教育ニ支障ヲ來サザル如ク措置スルコト

十三、分會ノ行フ一般軍事教育ハ學校教練ヲ以テ之ニ代フルモノトセラルルコト

十四、分會トシテノ一般行事ハ學校報國團等ノ活動ヲ以テ之ニ代ヘ特ニ必要アル場合ノミ實施スルモノナルコト

十五、學校分會ニ要スル經費ハ學校報國團費ヲ以テ之ニ充ツルコト

十六、學校分會ハ本年未迄ニ結成ヲ完了スルコト

### ●食第一〇九號

昭和二十年一月十一日

#### 經濟 第一部 長

三重縣農業會會長殿  
各地方事務所長殿  
各市町村長殿

聖旨奉答麥播付必完運動實施ニ關スル件  
本日ヨリ一週間麥播付必完運動間ト定メ縣下全農家ヲ動員シテ麥播付未了地ニ集中セシメ聖旨奉答食糧決戰、麥類増產運動ノ目標四萬町歩ノ作付完遂ヲ期セラレ度右命ニ依リ通牒ス

聖旨奉答麥播付必完運動發足ニ際シ  
聖地六十萬農民ノ憤起ヲ望ム

縣食糧増產推進本部長

死闘ヲ祈ルヤ切ナリ。

#### 聖旨奉答麥播付必完運動實施要領

一、割當面積未了町村ニ於テハ直ニ町村及同農業會主催ニテ増產班長會議ヲ開催シ播付完了計畫及之ガ實行方策ヲ樹立スルコト

猶實行方策樹立ニ際シテハ極力全農家動員ノ如キ強力ナル方途ヲ採用スルコト

縣食糧増產推進本部指導班、地方事務所、農業會支部其ノ他關係機關ハ極力之ニ參加スルコト

二、割當面積完了町村ト雖モ運動開始後速カニ増產班長會議ヲ開キ、播付餘地ノ有無ヲ檢討スルト共ニ麥作管理ノ徹底ヲ圖ルコト

三、本運動期間ニ於テ成績顯著ナルモノニ對シテハ知事ヨリ威狀ヲ交付ス

威狀ニハ金一封ヲ附スル外物資ノ特配ヲモ考慮ス

四、特ニ重點ヲ指向スルノ要アル地域次ノ如シ  
桑名郡、桑名市、員辨郡平坦部、三重郡平坦部、四日市、鈴鹿市、河藝郡平坦部、安濃郡平坦部、津市、一志郡平坦部、飯南郡平坦部、松阪市、多氣郡平坦部、度會郡平坦部、宇治山田市、志摩郡、

三重縣知事 持 永 義 夫  
皇國正ニ危急ノ秋、物心兩面ニ正リ國力ヲ充實スベシトノ聖旨ニ答ヘ奉ルベク全縣民蹶然憤起、必完ヲ誓ツテ開始セル麥四萬町歩播付ノ大運動ハソノ發足ニ於テ天候其ノ他ノ障害ニ災サレ農民各位ノ營々タル努力ニモ拘ラズ昨年末迄ニ遂ニ目標播付完了ニ至ラザリキ、寔ニ遺憾ノ極ナリ。然モ本運動ノ聖旨奉答タル性質及刻下ノ國內食糧事情ニ鑑ミル時、自然的勞力の惡條件ヲ列舉、乃至ハ昨年ノ實蹟ト對比シ、以テ現在ノ成績ニ甘ンズルガ如キ安易ナル態度ノ斷ジテ許スベカラザルハ論ヲ俟タズ。

聞クナラク他府縣ニ於テモ既ニ全村民總出動ニヨリ麥播付ニ挺身シツツアリト、乃チ縣食糧増產推進本部ニ於テハ本日以降一週間ヲ劃シテ麥播付必完運動間ト定メ縣下全農民ヲ動員、播付未了ノ地ニ集中セシメ本週間内ニ於テ四萬町歩ノ目標達成ヲ期スルハ因ヨリ、更ニ割當面積完了町村ト雖モ播種可能ノ空地アラバ舉ゲテ利用シ、以テ縣内方寸ノ空地ヲモ殘スナカラシメ聖地縣民ノ忠誠心ヲ顯ホセントス

麥播付必完運動展開ニ際シ縣下全農業戰士諸君ノ憤激

北牟婁郡、南牟婁郡平坦部中間部

五、技術指導上注意スベキ點次ノ如シ

- 1、麥ノ種類及品種  
大麥、倍取一〇號 三重珍子
- 2、播種量 大麥、反當六升五合、稈麥反當五升
- 3、芽出播ヲ勵行スルコト
- 4、整地直後播種スルコト
- 5、覆土ハ細土ヲ丁寧ニひらナク實施スルコト
- 6、土壤乾燥甚シキ場合ハ播種直後直ニ鎮壓スルコト
- 7、播條上ニ堆肥、稻葉等ヲ被覆スルコト

### ●商第六九三〇號

昭和二十年一月十一日

#### 經濟 第二部 長

各地方事務所長殿  
各市町村長殿

自由金融業者調査ニ關スル件  
金融業者ノ指導ニ付テハ從來種々御配意相煩シ來リタ

●軍需第七〇二號

昭和二十年一月十一日

經濟第二部長

各地方事務所長殿  
各 市町村長殿

公共團體關係金屬類決戰回收ニ要スル  
經費補助申請ニ關スル件

昭和十九年度公共團體金屬類決戰回收ニ關シテハ目下  
夫々實施中ノ處右ニ要スル回收經費國庫補助ニ付テハ  
昨年度同様昭和十九年四月一日ヨリ本年一月三十一日  
迄ノ供出實績數量ニ對シ補助相成ル見込ニ付昭和十八  
年十一月六日附振第一九一七號內政部長通牒參照左記  
御了知ノ上二月五日迄ニ地方事務所經由(市ニ在リテ  
ハ二月十日迄ニ直接縣ニ)補助申請書提出相成タシ

記

- 一、本補助ハ回收實績數量ニ對シ補助セラルモノニ  
付回收見込ノ物件ニ付テハ補助申請ヲ爲サザルコト
- 二、補助見込額調ニハ縣工作隊(地方班)發行ノ回收物  
件受領調書ヲ添附スルコト
- 三、補助申請書提出期限ハ必ズ嚴守ノコト右期限後ニ  
到着ノ分ニ付テハ本補助ノ對象ヨリ除外スルニ付留  
意ノコト

記

一、市制施行地ニ付テハ業者全般ニ付、市制施行地以  
外ノ地域ニ付テハ資本金(個人ノ場合ハ資産)五萬圓  
以上ノ業者ニ付調査ノ上左記事項記載セラレタシ

| 住 所 | 氏名又ハ資本金又<br>稱ハ資産 | 従業員數營業方法 | 備考 |
|-----|------------------|----------|----|
|-----|------------------|----------|----|

備考 一、營業方法欄ニハ動産擔保貸付、不動産擔保  
貸付、有價證券擔保貸付又ハ信用貸付等ノ  
別ヲ記入ノコト

二、兼業者ハ其旨備考欄ニ記入ノコト